

# 北海道教育大学附属旭川幼稚園

〒070-0875 北海道旭川市春光5条2丁目1番1号 電話：0166-54-3556



## 教育目標

### 知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成



**知：よく遊び よく考える子**  
**徳：やさしく思いやりのある子**  
**体：たくましくやりぬく子**



## 本園の教育方針

1. 学校教育法、幼稚園教育要領に従い、幼児の入園から終了までを見通した教育を推進します
2. 幼児の個性・主体性・思いを重視した教育を推進します
3. 意図的・計画的な環境構成と教師の援助による、幼児が生き生きと充実して遊ぶ教育を推進します
4. 豊かな感性、表現、健康・安全、人間関係等、幼児の「生きる力」の基礎をはぐくむ教育を推進します
5. 小学校との連携を重視し、基本的な生活習慣や社会規範、道徳性等、幼児の豊かな人間性をはぐくむ教育を推進します



## 職員構成

園長・副園長・教諭（クラス担任）3名・養護教諭・非常勤職員（事務補佐・公務補）  
非常勤講師（クラス副担任3名・預かり保育担当・支援員） ・（警備員）

※ 教諭のうち1名・養護教諭・副園長は、北海道教育委員会の交流人事により赴任。  
本園勤務後は、公立小学校に復帰します。本園での勤務経験を生かし、各校での幼小連携の推進役等として活躍しています。



## 附属幼稚園として

教育方針に示したとおり、本園は、幼稚園教育の基本「幼児の主体的活動の重視」「遊びをとおしての指導」「幼児一人一人の特性に即した指導」に沿った教育を進め、それを土台とした先進的な研究を推進しています。旭川市内私立幼稚園・保育園、上川管内公立幼稚園及び幼児センターとの連携を密にし、地域のモデル園としての役割を果たしています。



魅力ある・特色ある取組について紹介します

## 豊かな環境が 楽しい遊びや体験を 生み出します



自然豊かな園庭環境は、四季折々の活動を生み出します。



飼育栽培活動で、豊かな心をはぐくみます。



絵本環境は、豊かなイメージと言語感覚をはぐくみます。

## 様々な交流が 社会性を育てます



クラスの枠を越えて、また、附属小・中学校と交流します。

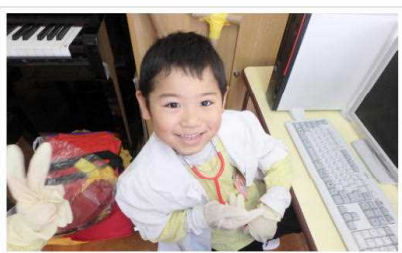


教育実習、ボランティア等の大学生とも交流します。



旭川養護学校の子もたちとも楽しく交流します。

## 個性を生かし 主体性を育てます



ぼくは、お医者さんになりたい。誰か患者さんになって！



わたしはお家をつくります！  
いろいろな道具も使えるよ。



科学的な見方や考え方の芽生えをはぐくみます。

## 学生の学びの場 教育実習

幼稚園教諭免許取得をめざす旭川校4年生が、本園で3週間の教育実習に励みます。また、育児学実習（技術家庭分野）、フィールド研究（幼児教育分野）、家庭科の授業（附属旭川中学校3年生）等、年間を通して多くの学生・生徒が本園で学んでいます。



## 幼・小・中の連携 12年道徳

旭川地区付属三校園では、幼児・児童・生徒の豊かな道徳性を養うための指導内容や指導方法を明確にし、幼→小、小→中の滑らかな接続を促す教育実践を進めています。

本園年長組園児（5歳児）と附属旭川小学校1年生とが一緒に行った野菜づくり、カレーライスづくり、子ども祭り交流等は、道徳的な気づきにつながる貴重な経験となりました。



## 附属幼稚園として 研究推進

本年度より研究主題「体験のつながりから遊びの広がりへ」を掲げ、地域のモデルとなるべく研究を推進しています。

平成28年度の教育研究大会は10月1日に開催。市内、道内そして道外からも多くの方々に参加をいただきました。

また、8月には、「特別支援教育事例研修会」を開催。市内及び近郊の幼稚園教諭・保育士に参加をいただき、特別な支援が必要な幼児への支援、園内体制、関係機関との連携等、事例を紹介しながら学びました。

平成29年2月には、「特別支援教育学習会」を開催します。



## 子育て支援の充実

### ◇預かり保育

旭川校の豊富な人材も活用し、保育内容を工夫しています。

### ◇宅配給食

民間給食業者による「宅配給食」を週1回実施しています。

### ◇附幼で遊ぼう

未就園児とその保護者を対象に、年間7回実施しています。

内容は「幼稚園ってこんなところ」「親子で楽しく遊ぼう」

「園児と一緒にあそぼう」等。附属旭川幼稚園のよさを知っていただけるよう、毎回、内容を工夫しています。

### ◇園庭開放

地域の子どもたちとその保護者に、園庭を開放しています。



平成29年2月6日 副園長：北山 雅章